地域でいきいきと暮らし続けるために
～ 在 宅 医 療 を 考 え る ～

高齢者が安心して老後を暮らすことができることは誰もが願い、期待するテーマです。しかし、高齢で一人暮らしになり、病気や不安を抱えて医療や介護が必要になった時、現在の日本社会では安心できるにはほど遠い現実があります。高齢者の入居する施設が足りない、介護保険が十分に機能せずさらに保険財政の厳しさを理由にした介護保険のサービス低下、医師、看護師不足による地域医療の崩壊など高齢者の独り暮らしにとって厳しい現実があります。

連合千葉議員団会議と千葉県地方自治研究センターは千葉県の在宅医療、介護について現状を調べ、改善策を提案すべく共同研究を始めました。その一環として講演会を企画しました。

今回のシンポジウムでは、東京新宿区で市ヶ谷のマザーテレサと呼ばれて、地域の在宅医療の現場で高齢者に寄り添い、住み慣れた地域や自宅で暮らし続けることをサポートしている NPO 法人理事長秋山正子先生の経験に基づくお話を聞くことになりました。

その後、県内で活動する、医師、研究者、地方議員などによるパネルディスカッションを行います。関係する皆様の奮ってのご参加を要請いたします。

シンポジウム　開催次第

１３：００～開会あいさつ
１３：０５～地域活動報告
１３：３０～基調講演　秋山　正子氏
１５：２０～パネルディスカッション
　司　会　　宮﨑　伸光（法政大学教授）
　コメンテーター
　　秋山　正子氏（講演者）
　医　師　　土橋　正彦氏
　　千葉県医師会副会長
　議　員　　天野　行雄氏（千葉県議）
　議　員　　石井　宏子氏（千葉県議）
　研究者　　鏡　諭氏（淑徳大学教授）
１６：５０　終　　了

連合千葉議員団会議
シンポジウムご案内

●日時：2015 年 2 月 7 日（土）13：00～
●会場：千葉県教育会館大ホール
　　千葉市中央区中央４－１３－１０

＜講演　講師紹介＞

秋山　正子（あきやま　まさこ）
＜現職＞NPO 法人白十字在宅ボランティアの会理事長、東京女子医大非常勤講師
＜略歴＞秋田市生まれ、聖路加看護大学卒業
産婦人科の看護師を経て現職。
＜著書＞『在宅ケアの不思議な力』医学書院
「患者と家族のケアについて」等
NHK 仕事の流儀「どんなときでも命は輝く」で放送され反響を呼ぶ、現在、地域の仕事の傍ら全国を講演して歩いている。
２００９年社会貢献支援財団「平成２１年度社会貢献者受賞」

●主催：連合千葉議員団会議
●共催：千葉県地方自治研究センター